

HotLand通信

2021.1.1 >>> 2021.12.31

株式会社ホットランド

証券コード: 3196



株主の皆様へ

平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第31期(2021年12月期)は、前年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、政府からの緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用が断続的に実施され、休業や営業時間短縮等への対応を取りながらの事業推進を余儀なくされました。加えて、原材料の高騰やエネルギー価格の上昇などへの懸念もあり、不透明な経済情勢が続きました。

そのような状況下、当社グループの連結業績につきましては、売上高29,678百万円(前期比3.3%増)、営業利益970百万円(同14.4%減)、経常利益3,603百万円(同199.1%増)という結果となりました。

築地銀だこ事業においては、10月以降、各種要請が徐々に解除されるに伴い、他社とのコラボレーションキャンペーンなどを含む販売促進策を積極的に実施し、来店促進への取り組みを推進いたしました。年々需要が高まるデリバリーサービスの拡充にも継続して取り組み、デリバリーサービス導入店舗数は12月末には235店舗となりました。

店舗出店においては、引き続きロードサイド型店舗の展開を推進しました。ドライブスルー店舗、ドライブイン店舗それぞれで、より生産性・収益性の高い店舗モデルに向けてブラッシュアップに取り組んでいます。

酒場業態においては、前年に続き、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴う酒類提供の制限等の影響が大きい1年でした。当社は、コロナ禍でも成長が見込まれる「もつやき・ホルモン・焼肉」市場で、「日本再生酒場」や「もつやき処い志井」等の業態を展開する運営会社の株式を12月に取得し、グループ傘下といたしました。

製販事業においては、冷凍たこ焼の大手コンビニエンスストア向け販売の他、大手スーパーマーケット向けの販路が拡大。また、アイスクリーム製品のギフト販売や卸販売も拡大し、好調に推移いたしました。

海外事業では、コロナ禍の諸規制の影響により、厳しい状況でしたが、香港の直営店舗では営業黒字を維持しており、家賃下落等の外部環境の変化を商機と捉え、積極的な出店を行っております。



また、当期は、今後を見据えた新業態の開発にも積極的に取り組みました。11月、ロードサイド型の主食マーケットを対象にした新業態「野郎めし」を群馬県太田市にオープンさせました。今後、当業態を軸に、主食マーケットの開拓にも取り組んでまいります。

2022年12月期も、コロナ禍の影響により、引き続き厳しい事業環境が予想されますが、当社グループにおいては、「築地銀だこ」という強いブランドを軸に、ロードサイドマーケットや主食マーケットという新たな市場の可能性、新しい業態の開発・育成にチャレンジしてまいります。

また、「築地銀だこ」は、2022年3月14日をもちまして創業25周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物でありますことに心よりの感謝を申し上げ、創業25周年記念として1株当たり2円の記念配当を実施することといたしました。

この先25年もこれまで同様に、チャレンジを続けるホットランドグループでありたいと考えています。引き続き全社員一丸となって邁進してまいります。株主の皆様には、変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2022年3月
代表取締役社長 佐瀬 守男

ホットランドグループの運営ブランド紹介

グループ組織の再編について

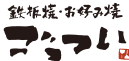
当社グループは、2022年1月1日付で、グループ内の組織再編により、2つの新たな子会社「株式会社オールウェイズ」と「株式会社ホットランドネクステージ」を立ち上げました。前者は酒場業態を、後者は主食業態を展開していく会社として、それぞれ事業を推進してまいります。



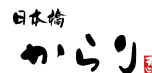
築地銀だこ



酒場業態



主食業態



その他



新マーケットへの取り組み

1 ロードサイド型モデルのブラッシュアップ

2021年12月末で、ロードサイド型店舗の店舗数は、13店舗となりました。

ドライブスルー店舗では、コンテナを使用することで、機動的な出退店や移設・再利用が可能なモデルとなっています。また当コンテナは、自社独自の仕様で製造し、内装・設備などを加えて使用しています。メニューも絞り込むなど、生産性の改善に向けて、取り組みを続けています。

コンビニ跡地への出店をメインとするフードコート型のドライブイン店舗では、間仕切りにより落ち着いたイートインスペースに改良するなど、より居心地の良い空間にブラッシュアップしています。

座間ドライブスルー店



たこめし弁当
が武器に！



船橋ドライブイン店



間仕切りにより、
落ち着く
イートインスペース



2 新業態「野郎めし」 ロードサイド×定食マーケットへの参入

ロードサイド型の主食マーケットをターゲットにした新業態「野郎めし」が登場！ 2021年11月に、1号店となる「太田50号バイパス店」が群馬県太田市にオープンいたしました。

しょうが焼定食をコアメニューとし、テイクアウト・デリバリー需要にも対応可能な業態です。当業態を軸に、主食マーケットの開拓にも積極的に取り組んでまいります。



3 「もつやき・ホルモン・焼肉」市場における展開

コロナ禍においても、「もつやき・ホルモン・焼肉」市場は成長が見込まれております。当社は、2021年12月、「日本再生酒場」や「もつやき処い志井」等の業態を展開する「株式会社日本再生酒場」及び「株式会社もつやき処い志井」の株式取得を実施いたしました。

当該2社は、独自のノウハウから仕入れる最高の鮮度のホルモンが自慢の一つで、「日本再生酒場」は立ち飲みブームの起点となった、70年の歴史を持つ「もつやき処」の老舗酒場です。“活力あふれる日本の酒場をもう一度”、の心意気を受け継ぎ、今後、地方都市も視野に入れた店舗展開を図ってまいります。



日本再生酒場 新宿三丁目店



日本再生酒場 桐生編

2021年12月期下半期 キャンペーン・コラボレーション展開

2021年12月期も引き続き、販売促進施策を積極的に実施いたしました。売上に大きく寄与した12月実施のTVアニメ「呪術廻戦」とのコラボレーションをはじめ、他社とのタイアップ企画等、来店促進につながりました。

楽天ポイントカードとのタイアップ企画

外食業界横断プロジェクト「#外食はチカラになる」への協賛として実施された「楽天ポイントカード グルメマラソン」にパートナー企業として参画。



イオンモールとのタイアップ企画

イオンモールブラックフライデーに合わせた限定回数券を発行。食べ放題企画もあわせて実施。



※画像はイメージです

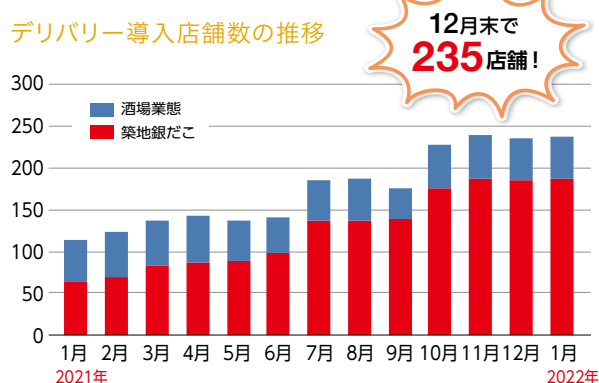
デリバリーサービス強化の 継続的な取り組み

デリバリーサービス強化にも継続的に取り組み、新チャネルの開拓・拡大を進めております。

【主な取り組み】

- ・個店別メニューの追加・カスタマイズ
- ・デリバリー専用メニューの開発
- ・導入店舗数の拡大
- ・サービスベンダーの拡大

デリバリー導入店舗数の推移



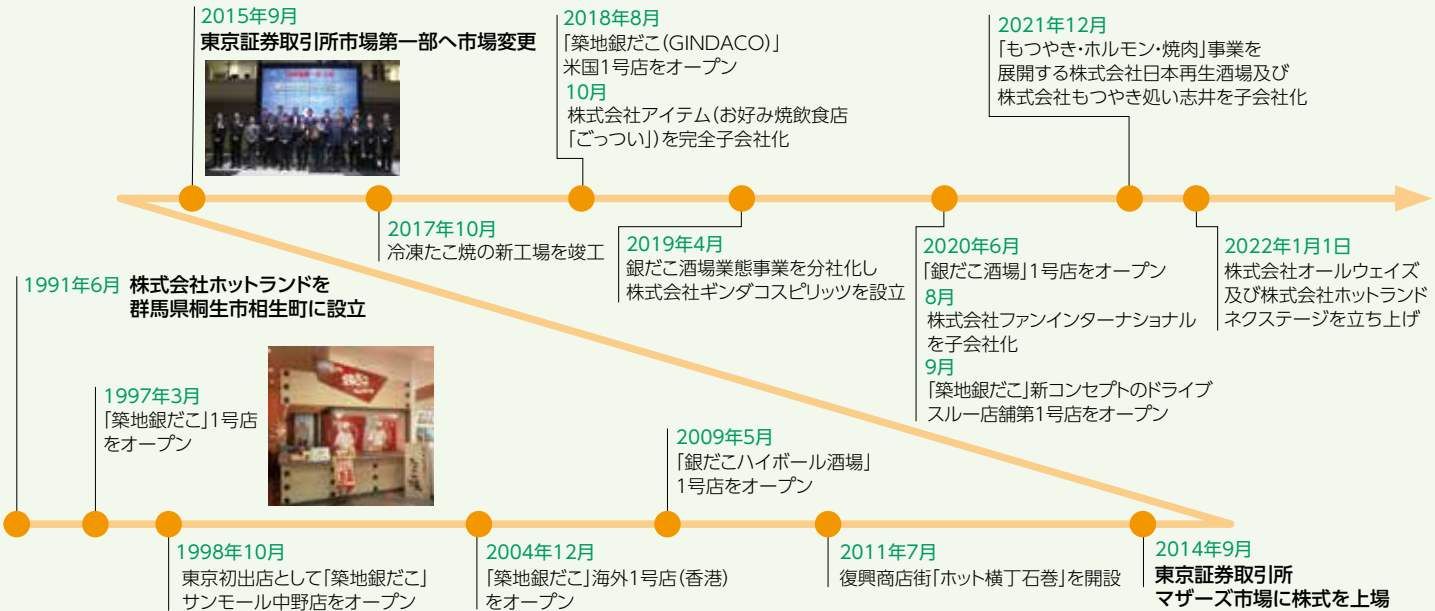
連結財務データ

【経営成績】	2019年度[第29期]	2020年度[第30期]	2021年度[第31期]
売上高(百万円)	32,434	28,732	29,678
売上総利益(百万円)	19,799	17,550	18,073
営業利益(百万円)	1,669	1,132	970
経常利益(百万円)	1,600	1,204	3,603
親会社株主に帰属する当期純利益 又は当期純損失(△)(百万円)	678	△1,138	2,079
1株当たり当期純利益 又は当期純損失(△)(円)	35.12	△52.93	96.55

【財政状態】	2019年度[第29期]	2020年度[第30期]	2021年度[第31期]
総資産(百万円)	17,730	18,166	21,313
純資産(百万円)	7,753	6,534	9,125
自己資本比率(%)	42.0	33.6	40.7
1株当たり純資産(円)	346.31	283.72	402.44

【キャッシュ・フローの状況】	2019年度[第29期]	2020年度[第30期]	2021年度[第31期]
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	2,365	693	5,151
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△2,096	△1,653	△2,398
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	375	782	△1,815
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	2,284	2,068	3,021

ホットランドグループの沿革



株主優待情報

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式の投資的な魅力をさらに高め、多くの皆様に保有していただくことを目的に株主優待制度を設けております。この機会に是非当社グループのサービスをご利用いただき、当社事業をより深くご理解いただけましたら幸いです。

■優待内容

6月末日、12月末日現在で1単元(100株)以上の当社株式を保有されている株主様を対象に、全国のホットランドグループの各店舗で利用できる優待券を贈呈

100株以上500株未満

半年毎に1,500円分(年間3,000円分)

500株以上1,000株未満

半年毎に7,500円分(年間15,000円分)

1,000株以上

半年毎に15,000円分(年間30,000円分)



※日本国内の株式会社ホットランドグループの各店舗でご利用いただけます。なお、一部優待券の取り扱いのできない店舗がございます。

最新の店舗情報につきましては、当社ホームページにてご確認をお願いいたします。

(<http://www.hotland.co.jp/ir/yutai.php>)

■会社概要 (2021年12月31日現在)

商号	株式会社ホットランド (証券コード: 3196)
設立	1991年6月
代表者名	代表取締役社長 佐瀬 守男
資本金	33億117万4,900円
所在地	東京都中央区新富一丁目9番6号 ザ・パークレックス新富町
従業員数	682名
店舗数	国内608店舗・海外68店舗
連結子会社	国内8社・海外4社
出店形態(国内)	直営298店・PC140店・FC170店

■株式の状況 (2021年12月31日現在)

発行可能株式総数	65,324,000株
発行済株式の総数	21,560,400株
株主数	42,804名

■大株主 (2021年12月31日現在)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社佐瀬興産	4,900	22.73
佐瀬 守男	1,628	7.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,249	5.80
株式会社ニッポン	1,078	5.00
イオンモール株式会社	560	2.60
佐瀬 由美子	511	2.37
サントリー酒類株式会社	509	2.36
SMBC日興証券株式会社	255	1.18
オタフクソース株式会社	210	0.97
株式会社J-オイルミルズ	210	0.97

(注)持株比率は自己株式を控除して算出しております。

株式についてのご案内(株主メモ)

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年3月中	郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年 6月30日		
単元株数	100株		
公告の方法	電子公告により行う		
公告掲載URL	http://www.hotland.co.jp/ir/ ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。		



株式会社ホットランド

〒104-0041 東京都中央区新富一丁目9番6号 ザ・パークレックス新富町 TEL: 03-3553-8885